

2022 年度第 6 回理事会 議事録 2022.10.19

日時：2022 年 10 月 19 日（水）19：00～21：33

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成(16 名)

欠席理事：戸塚香代子、木村修介（2 名）

出席監事：錠内広之(1 名)

欠席監事：野々垣睦美(1 名)

I. 会長より挨拶

この 1 か月でも報告・審議事項が多数あります。重要な規程に関しても検討します。組織改編についても引き続き検討していきたいと思えます。ご協力のほどよろしくお願い致します。11 月度の理事会は対面での開催を現段階では予定します。今後の状況を踏まえて適宜検討していきます。

II. 審議事項について

1. 第 25 回日本医療ケアマネジメント学会学術総会 後援名義使用について(事務局) →承認
2. 部員・委員の承認について(事務局) →承認
3. 賛助会員 A 申請について(事務局) →承認
4. 復会について(事務局) →承認
5. 定款第 36 条 2 項の変更及び選挙管理規程第 20 条の変更について(規約委員会) →承認
6. 定款第 48 条の変更について(規約委員会) →承認
7. 理事会規則について(規約委員会) →承認

III. 報告事項について(各部署・理事)

【各部署】

1. 事務局

(1) 事務所の使用申請について(再確認)

2 週間前までに事務局長ならびに事務局に相談する。物品の使用も同様。

部外者が事務所内に入室する場合も必ず事前に相談すること。

2. 財務部・監事

(1) 中間監査報告

10 月 8 日に実施。概ね健全に遂行されているが、引き続き部署長は事業遂行ならびに会計に関して管理責任を持って適正な運営を継続するよう努める。修正など詳細は追って当該部署へ連絡する。

3. 広報部

対外広報班の活動参加について最終確認。

現社会状況を踏まえると参加への疑問点は少なからず残るが、市民・県民に向けた活動は大切。感染対策を厳正に行ったうえで実施することが担保されたため、開催当日の状況を踏まえて出展することとする。一般市民だけでなく当事者の社会参加も推進できるよう努める。また当会の賛助会員の募集も併せて行う。

4. 制度対策部

(1)2022 年度安否確認システム運用訓練について

訓練の参加者を増やすために事前に県士会ブログ、県士会 LINE、代議員へのメールで情報配信を実施中。

訓練参加者：157 名（理事会開催時点） 昨年度と比較し 5 倍の参加者

→対象は正会員であり非会員は対象外

(2)理事役員災害時連絡訓練

9 月 29 日に終了。概ね適正に運用できたことを確認した。実施後以下の点を振り返った。

ア)メールが正規の連絡方法であるが運用の困難さを感じた。LINE では全員が活用できた。

イ)今後実態に即したマニュアルに変更する必要性を感じた。

5. ウェブサイト管理委員会

(1) 他県士会のブログ掲載等に関する調査の報告について

各都道府県士会の状況に関して調査した。基本的には「お知らせ」という形で情報を発信している。一部はブログも活用しているが、各部や委員会が企画している研修会等の案内や関連団体の紹介などであった。個人でブログを掲載している会はなし。今後当会でも部・委員会に帰属する情報発信が望ましいと考える。

<意見交換>

○ブログの活用ではなく「掲示板」という形で運用し、発信したい情報をウェブサイト管理委員会にて審査・管理で公開する方法を提案する。

○一定のルールを設けた場合に利用者への周知・共有が重要だと考える。周知は可能か。→個別対応可能。

○ブログをカテゴリ化して関連する部署へ今後の運用を含めて検討してもらう方が良い。

○公的な情報の発信は必要だが基本的に私的な情報の発信は承諾できない。引き続き他県士会のルールも参考に、当会における適正なルールを明確してほしい。

※今回の意見をウェブサイト管理委員会にて精査し継続して検討する。今後結果等を報告する予定。

6. 学会評議委員会

委員会内で学会、臨床作業療法大会のマニュアルを鋭意作成中。

(1)第 5 回神奈川県臨床作業療法大会について(佐藤隼実行委員長より)

エントリー状況、広報活動の経過等について報告。理事役員から大会について周知参加の案内継続を依頼。

(2)第 19 回神奈川県作業療法学会について(大郷実行委員長より)

会場は茅ヶ崎市民文化会館 2023 年 10 月 15 日(日)の予約を完了。

オンラインでの開催期間は 10 月 15 日～11 月 9 日を予定(日本作業療法学会との重複期間を避けるため)。

一般演題募集は 2023 年 1 月より開始する予定。ワークショップ、書籍・機器展示を計画中。

学会開催支援業者により、①申し込み②参加費決済システム③ホームページ運営を行ってもらう予定。

オンライン決済システムは GMO ペイを使用する予定でありセキュリティについては安全を確認済み。

口述発表は一部会場発表を予定しているが一般演題は基本的にはホームページ上で動画発表とし質疑応答もオンラインで可能とする予定。

7. 地域包括ケアシステム推進委員会

(1)「横浜市フレイル予防研修会」での協力機関名称掲載について

横浜市主催の研修会に関して協力機関として当会の名称を記載していただく。

【理事】

1. 田中副会長

(1)40 周年記念プロジェクトチームより

12 月に活動を終了予定。記念誌の印刷を進めており今後製本を関連団体等へ送付予定。チャレンジ動画については各養成校へ協力を依頼。編集は会員の木下氏にボランティアにて実施していただく。YouTube に

も動画を公開する予定。

2. 澤口理事

(1)リハビリ手帳に関して 改訂版の初版が完成。理事役員に配布。今後意見等を募る予定。

IV.組織改編

1. 説明

(1)組織構成案の説明

各理事からいただいた意見・質問への回答と組織案の提案、今後のスケジュールを神保会長より説明。

(2)4 か年計画について

2023年～2026年度の4か年計画(中・長期計画)案について神保会長より説明。これを基に検討する。

2. 意見交換・共有

2グループに分かれ意見交換を実施。司会進行、書記、発表者を決めて、全体会で各グループの内容を共有した。理事会で意見交換シートを共有し今後の意見交換にも活用する。

3. まとめ

神保会長より

議論を重ねていくことが重要だと再確認できた。建設的で貴重な意見を多数いただいた。理事数や名称、役割などについても今後検討を継続したい。このたたき台を基に会員に向き合う組織づくりを進めましょう。引き続きよろしくお願い致します。

V.その他 連絡事項等

1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、玖島理事、神田理事。

2. 11月理事会について

以前より対面式での開催を検討してきたが、現状を踏まえて11月は会議室による対面式会議を準備する。

詳細は追って連絡するが、今後の感染流行状況によってはオンライン開催を継続する。

次回の理事会は①通常の理事会②次年度事業・予算計画③組織改編の3部構成とする。

3. 2023年度事業・予算計画に関して

各計画立案のフォーマットを送付する。来年度を見据えた計画を立案するが、現組織構成での立案を依頼する。

4. 監事より

(1)錠内監事

お疲れさまでした。組織改編について議論が進んできました。今回のたたき台に各部署の事業を当てはめて確認してみてください。それを基に今後の活動の検討に役立ててください。

また11月の理事会に関しては対面式を予定するとのことですが、ぜひハイブリット方式も検討していただきたいと思います。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	玖島 弘規	印
	理事：	神田 崇央	印
	監事：	錠内 広之	印

次回理事会日程：2022年11月23日(水)13時より開催予定